

製品名: FANCD2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86270**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.55mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:100-1:200,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:164 kDa; Observed MW:164 kDa

抗原情報

遺伝子名	FANCD2
別名	FA4; FAD; FACD; FAD2; FA-D2; FANCD
遺伝子 ID	2177
SwissProt ID	Q9BXW9
免疫原	ヒト FANCD2 の合成ペプチド

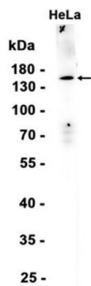
背景

ファンconi貧血相補群（FANC）には現在、FANCA、FANCB、FANCC、FANCD1（別名

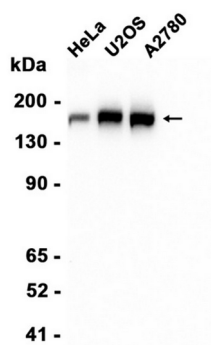
BRCA2)、FANCD2、FANCE、FANCF、FANCG、FANCI、FANCI (別名 BRIP1)、FANCL、FANCM、FANCN (別名 PALB2) が含まれます。以前定義されたグループ FANCD2 は FANCA と同じです。ファンコニ貧血は、細胞遺伝学的不安定性、DNA 架橋剤に対する過敏症、染色体切断の増加、および DNA 修復障害を特徴とする遺伝的に異質な劣性疾患です。ファンコニ貧血相補群のメンバーは配列の類似性を共有していませんが、共通の核タンパク質複合体を形成することで関連しています。この遺伝子は相補群 D2 のタンパク質をコードしています。このタンパク質は DNA 損傷に反応してモノユビキチン化され、相同性誘導性 DNA 修復に関与する他のタンパク質 (BRCA1 および BRCA2) とともに核フォーカスに局在する。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2016年2月]

研究分野

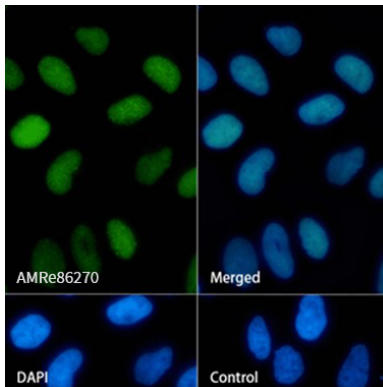
画像データ



FANCD2 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86270 を 1:500 で使用して HeLa、U2OS、A2780 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86270 で FANCD2 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。